



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 有害化学物質を出さないプリンターを導入している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電力使用量を簡易計算シート等を用いて把握しており、社内で電力の削減に取り組んでいる。 不要な電気はこまめに消し、打ち合わせのための車移動は予定をたて、午前・午後各1回程度にまとめ、効率的な車移動を推奨している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シート等を用いて自社のCO2排出量を算出し、抑制に取り組んでいる。 車移動時は納品・打ち合わせの状況を確認し、無駄のない車移動を心掛け、またメール等で済む打合せについては、メールへの移行を進めている。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		廃プラやレジ袋の使用を削減し、燃やしてもCO2を排出しないゴミ袋の使用を進めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		コピー用紙は再生用紙の利用と裏紙の再利用を推奨している。 社内における分別仕分けと再資源化を進めている。 商品製作時に発生する端材を利用して新たな商品開発を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		使用しない元栓は締めて、節水に取り組んでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン購入を推奨・再生用紙利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		弁当・外食時の食事を推進している。宴会時の食べ残しをなくす活動を推進している。 贈答の食品は賞味期限を把握し、従業員・知り合い等に分けている。	1	2					6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		オフィスの植栽等の維持管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを供給している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		木銘板の材料に、熊本県産材を利用・推進している。						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		本体部分の30%に再生プラスチックを利用しているプリンターを導入している。 さらに、使用するインクも業界唯一のエコマーク認定を受けた環境性能に優れた無臭の水溶性インクで、環境に負荷のない商品づくりを積極的に推進している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		2050年CO2排出実質ゼロを目指し、CO2の削減に係る計画を立てている。 商品製作時に発生するCO2を削減するためにプリントの素材にもこだわり、より環境負荷のない看板づくりを推進している。 また2050年工場の使用電力を自社の太陽光発電で賄えるよう目指して取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

